



# 学級づくり

校長 金泉 隆一

## クラス

よんじゅうにん  
四十人で つくる輪

かたち  
形は ときどき 変わるけど

その輪からは

ひとり  
一人も はみ出すことはない

わなか  
輪の中には

やさ  
優しい心

がんばる心

さべつ  
差別をにくむ心

いろいろな心があふれるほど

いっぱい いっぱい つまっている

いろいろな心を通して

みんなの心が 一つにまとまる

その時こそ そこには

一つのすばらしいクラスができる



6月22日(月)から一斉登校が始まりました。分散登校中には会うことのできなかつた友だちとの出会いに、子どもたちは大喜び。いつもより笑顔が多かったように思います。

一斉登校になったからといって、コロナウイルスの脅威がなくなったわけではありません。学校では、子どもたちの健康・安全を第一に考え、分散登校中に指導してきた『新しい学校生活の仕方』(「手洗いの徹底」「私語をしない」「人との間隔をあける」)を継続して指導を進めてまいります。ご家庭におきましても注意喚起をお願いします。

さて、上の詩は、どなたが作ったのかは、残念ながらわかっていません。6月22日の放送朝会で子どもたちにも紹介しました。一斉登校となり、全校の子どもたちが登校してきた今、各学年・学級で本格的に学級づくりが始まっています。上の詩は、「こんなすてきなクラスになったらいいな」という思いが込められていると思います。

学校は、学びの場です。子どもたちの学びは、国語や算数といった教科の学習だけではありません。友だちと仲よく過ごすため相手を思いやる心や友だちとの関わり方なども学んでいきます。集団で生活することは、いつも自分の思い通りになるとは限りません。自分の考えとは違う考えをもった友だちもいます。一人一人みんな違うということを学んでいく場でもあります。ともすると子どもは、「自分の考えが正しくて、違う考えはおかしい」と考えがちです。自分の考えとは違うからといって、我が儘な行動をとると友だちも困ったり嫌な思いをしたりしてしまいます。違うからこそ互いの話をよく聴いて、違うからこそ互いの考えを知ろうと話し合う。違いを知り、互いに認めることができるようになってほしいと願っています。そのためには、まず私たち大人が見本を示し、違いを認め合える人でありたいと思います。

「学校は、友だちをつくる場所」と私は思っています。それは、教員になった時から変わっていません。学校は、同じ学級の仲間として、同じ学年の仲間として、同じ学校の仲間として、考え方も感じ方も違う友だちとともに学び、ともに活動することを通して、たくさんのことを学ぶ場所でありたいと思います。



コロナウイルス感染症防止のため、これまで実施していたことができなくなってしまったことがたくさんありますが、その中で、子どもたちにとってよいと思うこと、必要と思うことをできる限り進めてまいります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 7月の行事予定

日	曜	行事予定	相談室
1	水	眼科検診(1年・2年)	
2	木	発育測定(1年・2年)	○
3	金	心臓検診(1年)	
4	土	土曜授業①(4時間授業) 区学力調査	
5	日		
6	月	全校朝会 色覚検査①(4年)	
7	火	色覚検査②(4年)	○
8	水	安全指導日 4時間授業 色覚検査③(4年)	
9	木	発育測定(3年)	○
10	金	眼科検診(3年・4年)	
11	土		
12	日		
13	月	全校朝会 発育測定(4年) 尿検査2次	
14	火	九九検定 発育測定(5年)	○
15	水	発育測定(6年) 尿検査2次追加	
16	木	視力検査(1年)	○
17	金	避難訓練 内科検診(1年～3年)	
18	土	土曜授業②(3時間授業)	
19	日		
20	月	全校朝会 視力検査(2年)	
21	火	視力検査(3年)	○
22	水	視力検査(4年)	
23	木	海の日	
24	金	スポーツの日	
25	土		
26	日		
27	月	視力検査(5年)	
28	火	視力検査(6年)	○
29	水	聴力検査(1年) 委員会① QR調査(3～6年)	
30	木	聴力検査(2年)	○
31	金	内科検診(4年～6年)	

# 生活指導部より

## 今月の生活目標

## 友達の健康もこころも守ろう

分散登校中、全学級で新型コロナウイルスによる感染症に関する授業を通して、「友達の健康もこころも守るには？」について考えました。現在も不安なことも多く、人との距離をとるなど、不便なこともあります。が、「あたたかな言葉遣い」を通して、「心と心はつながっている」ということを子供たちにくり返し伝えていきたいと思えます。

## PTA 専門委員決定のお知らせ

PTA 専門委員が決まりました。皆様のご協力ありがとうございました。選出された方には、お手紙を配布しましたが、後日詳細について PTA だよりに掲載し、ご報告させていただきます。

## 特別活動で育てていきたいこと

特別活動主任 合間 悠美

日頃より、ユニセフ募金やエコキャップ運動など、ご協力ありがとうございます。今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、子供たちの安全を考えながら進めています。昨年度までとは異なる部分もありますがご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

ここで活動の一つを紹介します。今年度は「1年生を迎える会」を体育館で実施することが難しいため、自己紹介カードを持った1年生が2年生以上の教室を回り、一定の距離を保ちながら交流しました。上級生は、クラス毎に声の掛け方を考えて、教室の中から1年生に挨拶をしました。限られた時間ではありましたが、加平小学校の新しい仲間として歓迎する時間になったのではないかと思います。

ここで特別活動を通して育てていきたいことについてお伝えします。特別活動は、学級会や係活動などの「学級活動」、委員会や集会などの「児童会活動」、4年生からの「クラブ活動」、1年生を迎える会や運動会などの「学校行事」から成り立っている特別活動は、学級や学年、学校という集団を通して学ぶことができる活動で、主に以下の3つの資質・能力を育てることを目指し

- ①自分と同じように人を大切に、思いやり、互いのよさを認め合い生かし合いながら、よりよい人間関係を築こうとする力
- ②学級や学校が居心地のよい場となるよう、自ら考え、取り組んでいくことで、よりよい集団や社会をつくらうとする力
- ③自分のよさや可能性を生かして実践しながら、よりよい自分・なりたい自分に向けてたくましくがんばる力

特別活動の多様な集団活動を通して、上記の3つの力が育ち、子供たち一人一人が大人になっても、「温かく望ましい人との関わりの中で、よさを発揮しながら、生き生きと社会生活を送る将来」につながっていくよう、一つ一つの活動を大切に実践してまいります。引き続き、温かいご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



## 友達の健康も心も守るには ～道徳の授業～

道徳部 流尾 里恵子

2020年が幕開けしたお正月の頃には、新型コロナウイルスによる感染症で、世界中がこのような状況になっていると想像していた人がどれだけいたでしょうか。見えないコロナウイルスへの怖さや不安から、感染者や医療従事者への偏見や差別が起きているというニュースを目にし、心痛む思いをされた方もいらしたことと思います。

その一方で、手紙や拍手、花火、ブルーインパルスで・・・など医療従事者に感謝の気持ちを伝えようと工夫している心温まるニュースも目にし、触れ合うことや直接的に助け合うことができなくても、感謝の気持ちを伝え、互いにねぎらい、力を合わせてこの不安な状況を乗り越えていこうという気持ちの大切さに、あらためて気づかされた方もいらしたのではないのでしょうか。

加平小学校では、通常登校を目前にした第5回目の登校日に「友だちの健康も心も守るには・・・？」と題して、コロナウイルスによる偏見や差別を防止するための道徳授業を全クラスで行いました。だれにでも分け隔てなく接し、偏ったものの見方や考え方をしないという強い心と自分と同じように友達や周りの人のことも大切にできる温かい心で、差別や偏見をなくそうと努力していけるよう、難しいテーマではありますが、子供たち一人一人の心に公正公平な心の種まきができるよう、全教職員、心を込めて授業に取り組みました。

以下に、子供たちのワークシートに記述された文の抜粋と授業で使用した動画のタイトルを掲載いたします。また、別紙に日本赤十字社から保護者の方に向けたメッセージプリントを配布いたします。ぜひ、ご家庭でも話題にいただき、授業で蒔かれた心の種が、心の芽となり、健やかにたくましく育まれていくよう支えていただけましたら心強いです。よろしくお願いいたします。



コロナがこわい。早く倒したい。友達を守りたい。みんなをみんなを守りたい。かなしいきもちの友達と仲よくしたい。〔1年生〕

差別という言葉を知り、とってもこわい言葉だと思いました。言わないように気を付けます。病院で働く人にあたたかい言葉をあげたい。ウイルスに負けない体を作りたい。〔2年生〕

差別は、人の心に傷ができ、嫌な気持ちにさせてしまう。「コロナウイルスは、人を殺してしまうことがあり、薬もないので怖い。」と思いました。手洗いやうがい、間隔を空けることを守って差別やいじめで相手の心を傷つけないようにすることを守りたいと思いました。〔3年生〕

コロナウイルスのせいで、差別を受け悲しい気持ちになった人がいるので「こわいな。」と思いました。人を傷つけるのではなく、今だからこそ助け合うべきだと思いました。「大切な人や身の回りの人を笑顔にしよう。」と思いました。〔4年生〕

この学習をして、「友達も自分も、もっと守ろう。」と思いました。「不安になったら、先生や友達に話すし、自分も悩みを聞いてあげよう。」と、思いました。差別がなくなるといいです。みんな不安なのは同じなのに、差別や偏見などをしてる人とされてる人がいて、恐怖はとってもこわいものだと思いました。〔5年生〕

コロナと同じくらい差別は怖いと思いました。ふざけてでも「あっちに行け」などの言葉は、絶対に言うてはいけません。だれかが隠すとさらに広がってしまうからみんなをみんなを守りたいです。

新型コロナウイルスと、その不安と差別は全て、つながっていることがわかりました。不安になる気持ちもわかるけど、目に見えない新型コロナウイルスの代わりに、人の差別で不安を解消するのはよくないです。

病院で働く人は、コロナウイルスをなくすために働いているので、差別をするのは本当によくないことだと思いました。病院で働く人がいるから、コロナに感染した人も治るんだと思うので、私は、差別をするのではなく応援していきたいです。

みんなも恐怖と戦っていることがわかりました。世の中に暗いニュースが多いけれど命を守るために頑張っている人や明るく盛り上げようとしている人など、それぞれ頑張っているの、今、できることから少しずつ乗り越えていきたいです。

差別があると病気にかかっても隠してしまい、そこから拡散してしまうということが怖いと思いました。差別を断ち切るために思い込まないことや思い込まないことや、情報に振り回されないことがとても大切だと思いました。〔6年生〕

- ◆日本赤十字社「新型コロナウイルスが引き起こす3つの感染症 ～負のスパイラルを断ち切るために」「ウイルスの次にやってくるもの」
- ◆イタリアのクレモナの病院でバイオリン演奏をした日本人の映像
- ◆Jチャン「だろっじゃなくて、かもしれない」

## ～新型コロナウイルス対策～



子供たちが使う水道は、間隔を空けて並べるようにマークをつけ、1つおきに使うように指導しています。

毎日、教室内や階段、廊下など、教員や主事の方が学校内を消毒しています。



## ～分散登校中の子供たちの様子～

毎朝、学校に来た時には、間隔を空けて並びます。昇降口が混まないように少しずつ時間を空けて教室に上がっています。



教室内では、子供たちの間隔を空けて座りました。現在も換気をしながら授業を行っています。給食の時間も、前向きで喫食しています。

